

INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ

環境大気中ダイオキシン類濃度調査結果

8月に実施した市内環境大気中のダイオキシン類濃度調査結果について、次のとおりお知らせします。

調査年月日 8月3・4日



大気採取装置

調査結果

調査地点	ダイオキシン類	コプラナPCBS
上久保公園	0・37	0・0016
下河内中公園付近	0・31	0・0021
新狭山公園	0・21	0・0015
農村環境改善センター	0・27	0・0012
三市一町行政境付近	0・25	0・0017
フラワーヒル東公園	0・19	0・0014
入曽幼稚園	0・28	0・0016
狭山市役所	0・28	0・0015

pg(ピコグラム)は1兆分の1グラム、TEQ(毒性等価換算濃度の略)はいろいろなダイオキシンを最も毒性の強いダイオキシンに換算して表したもので、毒性等価係数は、WHO・TEF(1997)を使用しました。コプラナPCBSは、ポリ塩化ビフェニルのうち、偏平構造を持つもので、ダイオキシン類と類似した生体作用を示すことが知られています。

調査報告

狭山市内の環境大気中のダイオキシン類濃度は、0・19～0・37 pg・TEQ/m³であり、全ての地点で環境庁で設定している大気環境指針(年平均値0・8 pg・TEQ/m³以下)を下回るものでした。コプラナPCBS濃度は、0・0012～0・0021 pg・TEQ/m³でした。

問い合わせダイオキシン対策チームへ内線3651



マイバッグキャンペーン

キャンペーンです。狭山市では、市民事業行政が一体となって、ごみの減量・資源リサイクル推進に取り組むために「狭山市のごみ減量化推進会議」が、独自に11月と12月にキャンペーンを実施します。皆さんも、「環境にやさしい買い物運動」にご協力をお願いします。

店頭キャンペーンを実施します

11月22日月、17時30分からサティ狭山店と入間川七夕通り商店街、入曽商店街の店頭で、キャンペーンの呼びかけと、チラシ、啓発品を配布します。



マイ・バッグキャンペーンは、ごみの減量化・リサイクルを一層推進するため、ごみの多くを占める容器包装に着目し、その代表的なレジ袋の削減とごみ減量意識の啓発を図ることを目的に、ごみ減量化推進国民会議で実施している全国的

問い合わせごみ減量・資源リサイクル推進チームへ内線3631

スプレー缶は必ず穴を開けて出しましょう

スプレー缶やカートリッジガスボンベの中にガスが残っていると、ごみ収集車の爆発・火災事故の原因になることがあります。こうした事故を未然に防ぐため、スプレー缶などは中身を完全に使い切り、火の気のない風通しのよい屋外で穴を開けてから、「空き缶・空きびん」の収集日に出すようにしてください。皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ第一環境センターへ ☎ 53・2831

